



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

まちづくりで積極的に意見交換

市女性連盟主催 第5回 女性議員との懇談会



(写真：北茨城市女性連盟)

9月29日、市女性連盟の主催で「女性議員との懇談会」が開かれました。5人の女性市議の活動報告の後、議員と参加者を二つのグループに分け、話し合いがこなされました。市立病院、子育て支援、地域活性化が主なテーマとなりました。病院をめぐるっては、赤字を抱えて新しい病院ができるのか、診療内容や人材な

どを充実させる必要があるではないかといった質問や意見が出されました。子育て支援、地域活性化では、国や自治体の政策を待つばかりでなく、自分たちで直接市当局に要望も出そうという方向が提示されました。街の特産物を作る

アイデアを出し合う場合も考えてみてはとの提案もありました。すでに今回で開催は第5回を数えます。議員からの一方的な答弁や要望を聞くということだけでなく、それぞれの立場で意見交換がすすむようになってきました。この街をどうしていきたいか、自分たちで何ができるだろうか、との積極的な思いを参加者のみなさんから強く感じました。

原子力事故の恐怖を忘れない

はたしてJCOの教訓は生かされているのか

10月3日、東海村で「JCO事故を忘れない原子力30茨城集会」が開かれました。事故から10年、重大事故の教訓が生かされている

のか改めて問われました。同実行委員会のアンケートによれば、「今も恐怖が残る」が13%、「何かのきっかけで思い出す」は66%、防

北茨城高校閉校記念特別講座
生徒と学ぶオーブンセミナー
こころ

県立北茨城高校は閉校を前に、地域にも開かれた特別講座を組んでいます(本紙既報)。今回は、大野靖之コンサート『僕が今、できること』。大野さんは、高校3年の時に母親を乳ガンで亡くしました。その体験から、施設や学校でのボランティアを続けていく27歳のシンガーソングライターです。ステージで次のように語りました。



第5回講座『僕が今、できること』

「核兵器廃絶・平和都市宣言」を庁舎にと鈴木やす子議員は一般質問で提案しました。さっそく本庁ロビー階段左に掲示されました。同宣言は、福田明議員が率先し1987年に市議会全会一致で採択されたものです。

ロビーに非核宣言

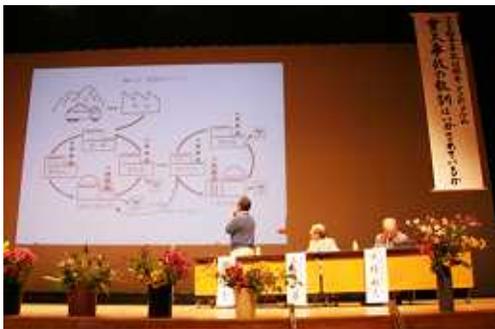


核兵器廃絶・平和都市宣言

世界の平和と安全は、人類共通の希求である。いま、国際的な核軍拡競争は、核戦争の危機を増大し、人類生存の恐怖となっている。私たちは、再び「広島」「長崎」のあの惨禍を繰り返さないために、すべての国に対し核兵器の廃絶と軍縮を求め、いかなる国の核兵器も許してはならない。一瞬にして奪い去る命を奪い、人類滅亡へと進む悲惨な戦争をいかなる理由があろうとしても許してはならない。北茨城市は、日本国憲法の恒久平和の理念に基づき、核兵器の廃絶と人類永遠の平和を希求し、ここに「核兵器廃絶・平和都市」となることを断固に宣言する。

昭和62年9月29日

北茨城市



(東海村文化センター、10/3)

シンポジウムでは、3人のパネリストから次々と問題点が出されました。核燃料サイクルのメリットはな

いことや現在の施設の耐震安全性についても大きな疑問があること、茨城県沖の活断層調査も不十分であることが指摘されました。

「母親が生きていたときには反発もあつたし、優しい言葉もかけられなかった。闘病生活をしていた母親の『明日におびえる』不安を思うとき、生きていることの奇跡を感じる。今、自分の体験を歌うこと、好きな音楽を一生懸命やること、が母の『いのちをつなぐ』ことになっていくと思う」

内田正人校長は「回を重ねるごとに一般からの参加が増えて大変ありがたい。今回は磯原町の市民ふれあいセンターで開くので、さらに地域の人たちにお越しいただければ」と声をかけていました。

11月12日、鈴木ひとみさん「車いすからの出発」が予定されています。

ちひろカレンダー 頒価1400円

いわさきちひろカレンダーを今年も取り扱っています。お問合せは編集部まで。

